

## 第6回 鎌倉市本庁舎等整備委員会会議要旨

### 1 開催日時

令和元年6月26日(水) 午前10時～11時30分

### 2 開催場所

鎌倉市役所 本庁舎2階 全員協議会室

### 3 出席者等

#### 【委員】

国吉委員長  
川口副委員長  
関根委員  
増井委員  
酒井委員  
大島委員(欠席)  
後藤委員  
西野委員  
正木委員(欠席)  
森安委員

#### 【事務局】

奈須部長(行政経営部)  
尾高次長(同部)  
関沢担当課長(同部公的不動産活用課)  
石塚課長補佐(同課)  
渡辺主事(同課公的不動産活用担当)  
江川主事(同担当)  
山本主事(同担当)  
渡辺職員(同担当)

#### 【事務局(関係職員)】

矢作課長補佐(共創計画部広報広聴課)  
安齊担当係長(行政経営部公的不動産活用課)  
中村職員(同課財産管理担当)  
末次課長(防災安全部総合防災課)  
山戸担当課長(まちづくり計画部深沢地域整備課担当課長)  
大江課長補佐(同課)

#### 【事務局(業務協力者)】

大野(株式会社都市環境研究所)  
西村(株式会社都市環境研究所)

#### 【傍聴者】

15名

### 4 次第

- (1) 開会
- (2) 前回会議要旨の確認について
- (3) 報告

ア 鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会 防災部会 報告書について

- (4) 議題

ア 意見公募の結果及び意見に対する市の考え方について

イ 鎌倉市本庁舎等整備基本構想（案）の答申について

(5) その他

(6) 閉会

## 5 開会

国吉委員長 本日は当委員会としての意見を取りまとめ、答申という形で市へ示したいと考えている。

始めに、事務局から委員の出席状況等の報告をお願いします。

事務局 本日の委員会は、委員 10 名のうち 8 名の委員に出席いただいております。本委員会条例施行規則第 3 条第 2 項の規定のとおり、委員の過半数の出席により、本委員会が成立していることを報告する。

## 6 前回会議要旨の確認について

国吉委員長 それでは、次第に従い、前回会議要旨の確認について事務局から説明をお願いします。

事務局 資料 1 の第 5 回鎌倉市本庁舎等整備委員会会議要旨（案）は事前に確認いただいている。

本日配付した前回の会議要旨（案）については、確認の後、本市ホームページで公表させていただく。

国吉委員長 会議要旨については、事前に確認いただいていると思う。事務局案のとおりにしたいと思うがいかがか。

全委員 (了承)

## 7 報告

### (1) 鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会 防災部会 報告書について

国吉委員長 それでは、報告（1）「鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会 防災部会 報告書について」事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料 2 「鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会 防災部会 報告書」を説明】

国吉委員長 ただ今の報告については、質問等があればお願いします。

全委員 (特になし)

国吉委員長 防災については前回議論しており、防災部会の報告書の内容が追加されたものである。

## 8 議題

### (1) 意見公募の結果及び意見に対する市の考え方について

国吉委員長 議題（1）「意見公募の結果及び意見に対する市の考え方について」事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料3「鎌倉市本庁舎等整備基本構想（素案）に対する意見公募の結果について（未定稿）」を説明】

【資料4「鎌倉市本庁舎等整備基本構想（素案）に対する意見と市の考え方整理表（未定稿）」を説明】

国吉委員長

様々な意見が出されているが、意見に対する分類と市の考えの内容を説明いただいた。また、この内容については、次の基本計画で反映できるものは反映していく等、次の議題で改めて説明することになっている。

ただ今の説明に対して、質問等はあるか。

川口副委員長

パブコメの資料を拝見した。非常に詳細に意見をいただいております、賛成意見もあり、反対意見もあり、市民の方々が非常に真剣に考えていると感じた。それに対して市も真剣に回答しているという印象を持った。今回のパブコメに意見を提出した方々の地域のバランスが取れていないものの、移転に関して政策的に進めてほしいという意見や、移転することに対して、不便さや、交通アクセスの懸念等が、明確に書いてあると思った。ここに挙げている視点や意見をぜひ上手く取り込むということが大事だと思う。

例えば、67 ページで、これは反対意見ではないかと思うが、現地の本庁舎（現在地）の跡地の活用について、大型バスの駐車場はやめてくださいという意見が書いてあり、私もそれはやめた方がよいと思った。というのは、現在でも市内の交通のコントロールが非常に大変で、大型車両が中心市街地に入ってくることに對して、エリアプライシングの話もあるとすると、現在地の跡地に大型車両が入るようなことはできれば避けた方がよいと思った。

もう一つは、防災の観点で、取組に対する様々な将来の予測から、様々な意見が出ていることである。それに対するしっかりした対応と、コストバランスを考えながら、市民が使いやすいところを求めていることは皆様共通の意見であると思った。今後は、その部分を丁寧に進め、理解をいただくことが大事だと思う。多くの意見の中では、これに対して関心を持っていて、既に様々な情報を持っている方がいる一方で、市庁舎移転に関して、あまり分からないというか、初耳というようなコメントもあったので、どちらにしてもしっかり説明していくことが一番大事だと感じた。

国吉委員長  
森安委員

他の委員からも、意見や感想等はあるか。

気になったのが、先ほど出ていた、意見のバランスが地域によってばらつきがかなりあることである。鎌倉地区の人たちの意見が多い。悪いということではなく、住まわれている住民の数によっても変わってくるので、そのバランスが分かるようなデータがあると助かる。

その先にもう一つ踏み込んで考えるならば、コメントの中に、大船、深沢、腰越地区の方たちの意見があまりなかったもので、もう少し意見がほしかった。今後は、どの地域からも活発に意見が上がってくるように進めてもらえるとよいと感じた。

西野委員

地域別というところもあると思うのだが、若い方の意見なのか、それとも年配

の方の意見なのか、子育て中もしくは共働きの方なのか、障害を持った方も含めて、どのような方がどう考えているのかや、意見をいただいている方の年齢、生活の背景等を分かった上での意見を知りたいと思う。

国吉委員  
事務局

このことについては、事務局から願います。

まず属性だが、個人情報保護法の関係があって、必要以上に個人情報を集めないことが原則となっている。

ワークショップ、市民対話等をやる時にも、年齢を聞いてグループ分けをすることが多いが、年齢を尋ねると教えていただけない方もいて、男女の比も含めてデリケートなところなので、積極的に集めてはいない。いただいた意見も踏まえて、属性を集めることも検討したいと思う。

国吉委員長  
関根委員

他の委員はどうか。

事務局からの説明の中に、「防災に偏りすぎているのではないか」という意見があった、というのを聞いて、気にはしている。ただし、防災部会の目的は、移転先と現在地のどちらが自然災害に対するリスクが高いのかというところを検討せよということだった。公表されている様々な情報をもとに、客観的に判断するところなるということを示し上げた。

私は学生に、このように話をしている。水圏環境防災工学という3年生の科目を担当しているが、その中で、災害が起こるのは365日のうち15日くらい、あとの350日は穏やかな日であると言っている。災害に力点を置きすぎて、環境を損なうというのはよくない。ただし、この15日間ほどに起きるかもしれない災害のことについて考えが足りないと命に関わる。そのバランス重要である。片面を災害対応とすると片面は環境の維持・創造になるので、両者が、しっかりバランスが取れた状態で成立していなければならない。私が担ったのは、あくまでも災害面に関してどのようなリスクがあるかということを中心に述べてきた。その上で前回までの議論を踏まえて、今回のような文書になっていると理解しているので、バランスは取っていただいたと思いたい。そこが市民の皆様にしかりと見えないとすると、残念だと思う。あくまで個人的な感想である。

国吉委員長

関根委員には、災害対応の観点から、議論しておくべきだという強い多方面からの指摘もあり、参加していただいたという経緯があるので、非常に感謝している。

一方で、これからの本庁舎がどのようにあるべきかという議論をもっとすべきではなかったか、という意見も当然ある。ただ、今回が最後ではなく、今後市として深めていく。

現在地の利活用が、市民にとってどのようなものになるのか、日常的な手続を行う場所だけなのか、それとも、鎌倉の中心として役割を果たすようにしていくのか、それについて本委員会で議論する機会はなかったのだが、市民の方々が非常に気にされていることなので、本委員会としてそれを把握していきたいと申し上げてきた。それは、本委員会としてのメッセージになろうかと思う。

増井委員

本庁舎整備は、非常に大きなチャレンジだと思う。今、市の方も苦労され

ているが、パブコメを読むと、期待と不安が両方届いていると思った。期待は、当然新しいことができる、様々な可能性があるということ。この辺りのアイデアは、今後も皆様から収集していくとよいと思っている。不安については、まだ見えない部分が多くあるので、これまでの経緯もだが、今後詰めていく中で見えることができれば、安心、賛同いただけるのではと思う。委員長が言った、現在地の跡地の利活用というのに大きな関心がある。市全体のまちづくり、そして公共施設再編計画、それに伴う公共スペースが、今後、市全域でどうなっていくのか、あるいは公共サービスの提供のあり方が変わっていくのか、というのが見えて、その中で市庁舎の役割が、より明確になっていくと思っている。

防災計画ももちろん、リスクの検証は非常に重要である。何か起きたときに、市全域でどのように行動するのか、連携のあり方や交通もそうだが、全体像の中の市役所というのが、今後明確になっていくとよいと感じた。

国吉委員長

増井委員の意見のように、公共で全て対応できる時代ではなく、地域の方々の主体的な活動が、文化をつくったり、地域のコミュニティを高めるといった、様々な事が日本各地で起こっている。そういう活動と連携した行政サービスということと、市民の活動のスペースを誰がどう維持していくのか、あるいは、企業がどう連携していくのかといったソフト面も含めたまちづくりを考えながら議論していくことになる。

これについて、事務局から何かあるか。

事務局

今の内容は、私どもも痛感している。国吉委員長の意見に関して、今年度から、本庁舎跡地（現在地）の基本構想策定作業に取りかかっている。新たな本庁舎に対する基本計画の検討にも着手する予定である。それを踏まえて、どのような役割であるとか、この場所のあり方であるとか、本庁舎跡地に対して、期待を持たれている方が多い中、ここが楽しい場所、市民の便利な場所、鎌倉地域の中でシンボリックなものになっていくことを目指したいと思っている。そこを踏まえて、再編計画がまだまだ浸透していないことも耳にした。広報がまぐらへの掲載もしているが、再編計画がただ施設を廃止する計画のように認識されてしまっている部分もある。今後、市民の方々に、丁寧に周知していかなければと考えている。

国吉委員長

今後の市民生活を豊かにする工夫、それを考えた上での本庁舎のあり方等、多面的な議論を行う中で進めていただきたい。

後藤委員

まず意見公募の数について、意見の総数 120 通はだいぶ少ないと思った。受付方法の内訳をみると、メールや電子受付等が大きな割合を占めていて、これはホームページや SNS による周知の効果が反映された結果だと思った。ぜひ、これからも続けていってほしいと思う。

次に資料 4 の考え方だが、意見ごとにまちづくり、アクセス、交通網、道路整備、災害対応等分かれているが、やはり市役所の移転に伴って、市民の関心事であるのは、交通網と災害対応で、これは密接に関係していくと思う。細分化をさ

れているが、ぜひ一体となって考えてほしいと思う。

国吉委員長  
酒井委員

後藤委員の意見は、先ほどの事務局の回答につながると思う。

先ほども防災の話があった。今は本当に災害が多い中で、私も防災の関係で委員になっている。先日1週間ほど東北に行ってきたが、市庁舎等が被害に遭った市町村は、どうしても復興が遅れている。行政の方と話をすると、備えはしてきたが、対応しきれなかったとのことであった。防災は、先ほど意見があったように、ある程度比重を占めて考えていけないといけないというのが実感だ。あとは、新庁舎にしても、跡地の利活用にしても、私も一市民なので、今まで以上に市民のためになるものを皆で考えていく中で、こういった意見を取り入れていけばいいと思う。

国吉委員長

酒井委員のように、様々な活動をされている方をはじめ、鎌倉は、市民活動が活発なので、ネットワークがどのように市庁舎の中でも形成されていくのか、工夫があるのかということも大事だと思う。

それでは各委員の意見、質問等も出たので、ここまでの議論としたいと思う。よろしいか。

事務局

先ほどの森安委員の意見について、回答したい。

各地域の人口のバランスは、今年の5月1日時点の人口で計算したところ、鎌倉地域は全人口17.2万人に対して約27%、大船地域は約4.3万人で約25%、腰越地域は約2.4万人で約14%、深沢地域は切り上げて約3.4万人で約20%、玉縄地域は約2.4万人で約14%ということなる。

鎌倉地域の方が人口の割合に比べてかなり多く出されているという特徴と、大船地域の方は、相対的に少ないというような特徴があるということになる。

国吉委員長  
事務局

森安委員から、適切な指摘をいただき、後々も生かされるようにしたいと思う。本資料を策定する際に掲載するか検討したい。今回の議事録には残る。

国吉委員長  
全委員

それでは、議題1については、ここまでとしたいと思うが、いかがか。

(特になし)

国吉委員長

それでは、議題1を終了する。

## (2) 鎌倉市本庁舎等整備基本構想(案)の答申について

国吉委員長

議題(2)「鎌倉市本庁舎等整備基本構想(案)の答申について」、資料5は、「鎌倉市本庁舎等整備基本構想(案)について(答申)」と「鎌倉市本庁舎等整備基本構想(案)」の二つセットになっている。A4の1枚のものが鑑になる。

鑑文について、「1. 基本理念について」「2. 整備について」「3. 事業手法について」の3項目については、これまでの本委員会での議論を通じて出ていた意見の中で、期待、配慮及び要望することを示しており、また、「4. 進め方について」は、今後の取組における要望として、市民の方等への細やかな情報提供や丁寧な説明を心掛け、市民とともに事業の着実な推進を図っていただくとともに、部署間の連携や検討に必要な体制及び専門部署づくり、市議会の議論を感知して取組を進めること、また、スケジュールについてだが、令和元年度から始

める本庁舎基本計画の策定作業と現在地の利活用に関する基本構想の策定作業はお互いに連携を図ることによって、取組の進め方が市民に分かりやすくなるということ等を委員会の答申として記載をしている。

冊子の詳細については、事務局から説明をお願いしたい。

事務局

【資料5「鎌倉市本庁舎等整備基本構想（案）」（冊子）を説明】

【資料6「鎌倉市本庁舎等整備基本構想（素案）からの主な修正内容」を説明】

国吉委員長

資料5については、当委員会における最終的なとりまとめとして整理したものである。

鑑文においても市には、細やかな情報提供や丁寧な説明を心掛け、市民の方々とともに事業の着実な推進を図ってほしいと書かせていただいた。

また、今年度は次の段階の基本計画のみならず、本庁舎の現在地の利活用に関しても取り組むということから、両方が連携を図り、進めてほしいと考えている。これまで長く議論を行ってきたが、概ね各委員の意見は反映されていると思う。

ただ今の説明に対して意見、質問等はあるか。

また、ページの構成について、市民により見やすいように、あるいは災害だけに偏らないような全体のバランスを考えての配置換えとしているが、これについての意見もいただきたい。

川口副委員長

パブコメの意見に応える形で、章立てを変えられたので、私もそれでいいと思う。内容についても分かりやすいと思うが、逆に章を変えたことによって第2章を開けたとたん、深沢の地図が出てくることについては、言葉を補ってはどうか。パブコメの質問に対する市の回答の中にも何回か出てきたが、資料4の46、47ページでは、①現在地での建替え、②現在の本庁舎の長寿命化、③移転して整備の3パターンで考えて、総合的に判断したということコンパクトに書いて、深沢地域へつながっている。これと同様に、いきなり資料5の2-1で図が出てくる前に文章を補うことで、これまでの検討の経過が分かりやすくなるのではないか。

国吉委員長

非常に重要な指摘だと思う。これまでの議論とか、それを踏まえて候補になった場所の比較、その経過を踏まえて決定した深沢地域整備用地の検討が来ていることの表現として、もう少し工夫した方がよいのではないかという意見だった。

事務局

文章として長いですが、第1章でこれまでの経緯を入れてあるので、第2章で唐突感がないように、第1章の流れを汲みながら修正することを考えたい。

川口副委員長

少し言葉を補っていただければよいと思う。

関根委員

今の点は私も気になっていた。ページを前に戻るように見ていくと、1ページ目の「1-1. 本庁舎の整備の必要性と基本構想策定の目的」の最後から2行目に「これまでの検討を踏まえて、深沢地域整備事業用地への移転整備を進めていく」ということが既にここで言われている。これは委員長が言ったとおりであり、この委員会の議論の中で決めたことではなくて、その前の段階で出ていたことなので、「ここに書いてあるからよいでしょう」ということにはならないと思う。表現を工夫されるのがよいと思う。副委員長と同じ考えである。

国吉委員長 文章上でという、場合によっては前委員会での検討と、深沢に決まった経緯が分かるようなものを書く等、別途の説明を参照ということで設けた方がよいかもしれない。突然出てくるのであれば、工夫も必要かと思う。

他の委員はどうか。

増井委員 見せ方として、11 ページに基本方針が出ているが、緑色で囲んでいるのが六つの基本方針だと思う。鎌倉市本庁舎等整備基本構想（素案）概要版がよく整理されている。これを見ると、見開きでこの六つ基本方針が出ていて、これが今後、市民の皆様に説明していくものなのだと改めて思ったが、資料6の鎌倉市本庁舎等整備基本構想（素案）では少し分かりづらい。例えば言葉で補うなら「六つの基本方針」と、あとで番号付けをしているので、11 ページも同じように「1～6」という形で編集するとういと思う。

あと、今回様々な議論をした中で、具体的な話が出てこなかったと思っていることのひとつが、シビックエリアと言われるところの整理である。消防本部、総合体育館とか、公園あるいは、地域の図書館という話も出てきている。それらとの連動、連携も非常に重要で、役割分担もある。最近は、市民が利用するスペースも備えた消防施設が整備されている。このエリア内の整備がどうなっていくのかという議論が、今後重要だと思う。その部分も整備スケジュールに反映した方がよいと思う。もう一点、深沢全体が今後どう動いていくのかというのが、同じくコンパクトで効率的、なおかつ魅力的な市庁舎づくりには欠かせないものになるので、今後の一体的な検討や整備のあり方等を、最後の整備スケジュールに、もう少し具体的に書き添えられるとよいのではないかと思った。

事務局 スケジュール関係は、深沢地域整備課とも一緒にやっていかなければならないと思っている。令和3年度の都市計画決定を目指しているので、記載できる範囲で載せていこうと思っている。

要素に関しては、少し見せ方を考えていきたい。概要版に関して好評を得た部分は生かしていきたい。

消防関係の話は重要だとは思う。今回は基本構想の中で、基本理念、基本方針を決めたところではあるが、次の基本計画の中で進めていく方法としては、まだ決定ではないが、窓口の部会であったり、消防関係の部会であったり等、どのように組み立てていくのかというところで、今年度中に、庁内でワーキングチームをつくって話を進めていく考えである。

増井委員 今の話は、とても重要だと思う。最後に今後の進め方にまとまりがあるので、具体的なスケジュールだけでなく、体制も含め、今後どのように検討していくかも書き添えていただくとよいと思う。

国吉委員長 同感である。事務局に検討をお願いする。

川口副委員長 また、まとめ方の話で申し訳ないが、2-2に基本理念と書いてあり、基本方針や全体の進め方が書いてあるので、2-2を先にして、次に2-1の深沢の図が入っている方が分かりやすいのではないかと感じた。付け加えると「このようなコンセプトで進める。」という話が出て、それに対してこのような手順で考え



を進めて、深沢エリアを対象として考えるという形につながるのではないかと思います。

2-2を先にして、2-1を2-2の後の方にした方が、考え方として伝わりやすいのではないかと思います。

西野委員 同感である。基本理念の文章が先に来ることで、すっきりとしたイメージを持った。

国吉委員長 事務局はいかがか。

事務局 特に課題はない。2章と3章の入れ替えも、市民の方から意見を受け、私たちも納得して、単純に大事じゃないということではなく、堅固な建物というコンセプトが方針にも入っているから、その中で組み込んでいった方がよいのではないかとこのところである。その辺りの入れ替え自体は問題ないと考えている。

国吉委員長 内容そのものを変えるということではないので、大きな変更というよりは、構成を修正するというところで検討をお願いします。

他に意見はあるか。

全委員 (特になし)

国吉委員長 それでは、ただ今、有意義な指摘があったので、内容としては概ね本委員会の考えの意見を網羅していると思う。

やはり一番重要なのは、本庁舎だけではなくて、他の公共施設との連携を図っていき、そのようなことを踏まえ、今後の公共施設のあり方を進めていってほしいということだ。そこをベースに、分かりやすく整理していただきたいと思うが、よろしいか。

全委員 (了承)

国吉委員長 内容の修正については、事務局が修正し、私と川口副委員長で確認をして、確定させていただきたいと思うが、よろしいか。

全委員 (了承)

国吉委員長 事務局もよろしいか。

事務局 はい。

国吉委員長 これで本日の議題は全て終了した。

## 9 その他

国吉委員長 事務局から連絡事項等あればお願いします。

事務局 今後のスケジュールについて説明する。

本日も含めて議論いただいた内容について、委員長、副委員長と事務局で調整の上、必要な修正を行ったものを当委員会からの答申としたいと思っている。なお、本日閉会後に市長から挨拶をさせていただく予定なので、別室へ移動をお願いします。

なお、本日の会議要旨だが、当面確認する場がないことから、後日メール等で修正の有無を確認し、確定としたい。

国吉委員長 本庁舎等整備基本構想に関する当委員会の開催は本日が最後となり、皆様の協

力、多くの市民の方の傍聴に、感謝を申し上げます。  
以上をもって、本日の委員会を閉会する。